

# 問 町民への支援、商品券などの発行は

## 町長 世論を受け止め最善策を検討する

### 住環境リフォーム

**問**今年度4月から1か月で、受け付けが終了した「住環境リフォーム促進事業」だが、年度中の補正、今後当初予算の増額の考えは。

**答**毎年度安定した事業の確保を図ること、一部事業者では、予算が増額されても受注できないと聞いており、追加補正などは行わない。

**問**仕事の注文は来ているのに、予算がなく今年度は行わないとの声も聞いている。冬にかけて、ボイラーなど室内の整備も考えられるが、要望があった場合の考えは。

**答**事業的には、ある程度の需要に对应しており、大成功だと思っている。要望があった場合、今のところは来年度以降にしてほしい。

### 事業継続応援補助金

**問**4月の補正、事業継続補助金の実績から比較の年を見直した方が良かったのでは。

**答**国や道では、一昨年も対象だが、減少割合は50%以上である。本町では20%以上を対象とし、他の支援策もあり、予算より実績は低い、一定の支援は行ったと考える。

**問**今回使われなかった予算、今後の支援策を含めて使い道は。

事業継続応援補助金実績

減少割合 20%以上	3件
減少割合 30%以上	5件
減少割合 40%以上	15件
交付件数	23件
交付金額	860万円
予算件数	75件
予算金額	2950万円

### プレミアム商品券

**問**コロナ禍で生活が困窮している方への支援はもちろん必要であるが、緊急事態宣言によって影響を受けている商工業者などへの、経済対策に特化した商品券発行の考えは。

**答**商品券配布を今後検討しているが、商工業者や町民の皆さんが最善に使える商品券のアイデアを、商工会でも提案してほしい。

### 行政ポイント

**問**健康診断、行政施設活用などで行政ポイントを発行する自治体も多いが、本町の考えは。

**答**システム構築や体制整備など費用対効果も考慮しながら検討する。

**問**健康増進も大事なことだが、広く行政サービスに対しての発行や、転入、結婚、出産などお祝いに対してなど、各課で何がポイント化できるのか、どのカードに付与するかなど、行政ポイント活用への今後の考えは。

**答**商工業発展のためには、マイナンバーカードではなく、オホーツクカードを使用すべきであり、今後どうかをオホーツクカード側でもきちんと検討してほしい。今後、前向きにやらなければならぬ時期に来ていると思う。



たにぐち たけひこ 議員  
谷口 武彦

今年も夏のイベントが中止。冬には開催してほしい。



今後も町民還元サービスと商工業振興を

### 10メモ

#### 行政ポイント

検診や講演会など町の事業に参加すると発行され、地域のお店で使用し買物などができます。

